

【NEWS RELEASE】

2026年4月10日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

「DX 銘柄 2026」及びDX グランプリ企業への選定について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長 グループ CEO：中島 達、以下、当社グループを総称して「SMBC グループ」）は、経済産業省、東京証券取引所および独立行政法人情報処理推進機構より、「デジタルトランスフォーメーション銘柄（以下、「DX 銘柄」）2026」に選定されました。本年度で3年連続の選定となります。

また、最も優れた取組を実践する企業が選ばれる、「DX グランプリ企業」にも選定され、銀行業としては、3年連続でのDX 銘柄およびDX グランプリ企業への選定は初めてとなります。



「DX 銘柄」は、東京証券取引所に上場する企業の中から、企業価値向上につながるデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進するための仕組みを社内に構築し、優れたデジタル活用の実績が表れている企業を選定するものです。今回の選定理由として、以下をはじめとする SMBC グループの多面的かつ一貫した DX・AI の取組が高く評価されました。

- ・ **DX・AI を軸とした業態変革の推進力**

AI を事業の核に据えた業態変革を推進。2024 年 10 月には 500 億円の生成 AI に特化した投資枠を新設するなど、投資規模とスピード感は他社を圧倒。全社共通の AI 基盤整備や、ユースケースを迅速に展開できる体制構築などを通じて、DX を全社的な経営変革として実行している。

- ・ **人材育成とグローバル体制の強化**

全従業員を対象としたデジタル人材育成、DX 案件を自ら企画・推進できる人材育成に加え、グローバルベースで先端知見も取り込み、継続的に事業変革へつなげている。

- ・ **既存ビジネスの深化と新規ビジネス創出**

「Olive」「Trunk」に代表されるように、既存の金融サービスをデジタルで再定義し、明確な財務成果を上げていることに加え、AI とデータを活用した業態変革や新規ビジネスモデルを創出。既存ビジネスの深化と新規事業創出の両面で、企業価値向上につながる成果の創出を進めている。

- ・ **ステークホルダーとの対話・情報発信**

オウンドメディア「DX-link」や外部イベント、メディア発信を通じ、経営トップ自らが DX・AI 施策と実装状況を継続的に発信。投資家・顧客・パートナーとの対話を通じて、事業共創やブランド強化につなげている。

SMBC グループでは、生成 AI およびエージェント AI を事業の中核に据えた業態変革を推進することに加え、金融機関という従来の枠組みにとどまらず、戦略策定から組織・人材、IT 基盤、データマネジメント、サイバーセキュリティに至るまで、DX を経営の中心に据えた包括的な取組を進めてきました。

今後とも SMBC グループでは、「世界をつなぐ日本発のトラステッド・パートナー」として、引続きデジタル技術および AI を積極的に活用し、社会・お客さまの課題解決を通じた持続的な企業価値向上を目指してまいります。

<参考>SMBC グループの DX 情報発信メディア「DX-link」: https://www.smfg.co.jp/dx_link/

以 上